

## 進路通信

2021年 第1号 4月12日(月)発行



## 大学入学共通テスト実施される

センター試験に代わり大学入試共通テストが実施されました。今年度は、コロナ禍の臨時休校による学習遅れを考慮して、**第1日程**(1/16, 17)と**第2日程**(1/30, 31)に2度に分けて行われました(大多数は第1日程で受験)。

従来のセンター試験と比べて実用的な問題が増加し、ほぼ全教科で問題量が増加したのが大きな特徴。また、英語において、リーディング(筆記)とリスニングの配点比率が従来の200点:50点から、**100点:100点**となり、リスニングの比率が上がり、リスニング重視の傾向が高まったことが全体の中での最大の変更点といえます。

志願者数は、約53万5千人で、前年比-2.2万人ですが、新入試を敬遠した浪人生の減少が目立ちました。また共通テスト出願者に対する受験者の割合が、従来の95%前後から、今年度は**90%**と大幅に減少しました。これはコロナによる学習の遅れと共通テスト難易度アップの恐れ、またコロナ禍での無理な受験を回避したことが要因と考えられ、特に3科目以下の私大受験者で前年比85%と大きく減少しました。

全体の平均点は、当初下がると予想されていましたが、受験者が減じたことも影響してなのか、昨年のセンター試験と同等またはアップした科目の方が多く結果となりました。さらに、公民と理科②の**2教科で得点調整**が行われたのも今回の大きな特色です。主な科目の平均点と主な出題の特徴を右表にまとめました。

来年度の共通テストは、過去の例からしても難化は必至と予想されていますが、条件は全受験生ともに同一条件です。3年生にはしっかりと対策をとって力を発揮して欲しいと願っています。

1年生、2年生の諸君もぜひ問題を見て、今から少しずつ準備をして欲しいと思います。

| 科目            | 平均点   | 前年差   | 主な出題の特徴          |
|---------------|-------|-------|------------------|
| 英語<br>(R/筆記)  | 58.8  | +0.6  | 全問で読解型の新形式となる    |
| 英語<br>(リスニング) | 56.2  | -1.4  | 第3問以降が1回読みに      |
| 数学ⅠA          | 57.7  | +5.8  | 会話文や現実の事象を扱う問題   |
| 数学ⅡB          | 59.9  | +10.9 | 会話形式やグラフの特徴の読み取り |
| 国語            | 117.5 | -1.8  | 複数テキストや応用的思考の設問  |
| 物理            | 62.4  | +1.7  | 身近な素材をテーマに考察     |
| 化学            | 57.6  | +2.8  | 読解力・思考力が要求された    |
| 生物            | 72.6  | +15.1 | 複数の資料を科学的に分析     |
| 世界史B          | 63.5  | +0.5  | 多面的多角的に考察する必要高まる |
| 日本史B          | 64.3  | -1.2  | 多様な史資料から多面的に考察   |
| 地理B           | 60.1  | -6.3  | 多様な資料の読解力と地理的思考力 |



## 初級レベル

饒舌(じょうぜつ=talkative)→おしゃべりな様子  
「お酒のせいかわ彼女は饒舌だった。」

## 標準レベル

昔日(せきじつ=old days)→むかし  
「昔日の面影が残っている。」

## 発展レベル

畏友(いゆう=a respectable friend)→尊敬している友人のこと  
「彼は僕にとっては畏友と呼べる存在だ。」